

令和7年度 第7回益富地域会議 会議録

日 時：令和7年11月19日（水曜日）19時00分～20時30分

場 所：益富交流館 1階 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞加藤 弘一、岸和田 紀美代、木戸 彰彦、黒田 隆、
今野 貞直、櫻井 裕子、柴田 栄作、鈴木 勲、鶴田 政勝、寺崎 謙二、
橋本 卓美、間瀬 亮次、森本 泰崇、山内 日出美

欠席者：梅木 貴仁、田中 強、古川 和彦

＜高橋支所＞前田支所長、出口副支所長、吉野担当長

＜内容＞

1 豊田市民の誓い唱和

2 会長あいさつ

会長から委員全員に以下の内容について情報提供した。

①高橋地域自治区代表者会議（令和7年9月18日開催）での情報交換

高橋地域会議では「高齢者支援及び自治区の担い手不足」に関する提言を実施したこと、
又、美里地域会議では高齢者に関する課題が取り上げられ、現在「高齢者の困りごと」
に関するアンケートを実施していることを情報提供した。

②第1回益富地域会議委員選考委員会（令和7年10月14日開催）での協議結果

次期委員の人数は13人程度を目標に進めていくこととなったことを情報提供した。

3 地域課題解決事業

事務局から事業計画案について説明した後、同案について全員で協議した。主な意見は、
以下のとおり。

事業	主な意見
サロンマップ 作成	・サロンに加えてカフェをはじめとした高齢者（地域住民）が集える 場所を網羅したマップにできるとよい。 ・自治区民のみ参加できるサロンなのか、どの自治区民でも参加できる サロンなのかを掲載すると利用者にとっても分かりやすい。 ・マップは折り畳み形式ではなく冊子形式の方が使いやすい。
共助交通の 仕組み導入	・勉強会の開催に加えて、共助交通自体のニーズがどの程度あるのかを 把握することも大事なのでアンケートも実施してよいと思う。 ・共助交通を導入するエリアが広過ぎるとドライバーの負担が大きくな る等の問題が出てくるため、導入エリアはよく精査する必要がある。
多世代文通	・返事が来ない人へのフォロー体制も検討していく必要がある。 （例えば、民生委員にも依頼してフォローしていただく等）
その他	・全体的に失敗する状況やその際のフォロー体制も考慮して進めた方が よい。

事業名については「高齢者が「幸齢者」として生き生きと暮らせる地域づくり」にすることで委員全員から合意を得た。

4 事務連絡

①令和7年度 第8回益富地域会議

- ・日時：令和7年12月17日（水曜日）19時～
- ・場所：益富交流館 多目的ホール

②令和7年度第5回 五ヶ丘まちづくりワークショップ（令和7年11月29日（土）開催）の案内

③「五ヶ丘まちづくりニュースレター第7号」の紹介

④豊田市ジェンダー平等推進センター情報誌「クローバー」の紹介

⑤高橋・美里・益富地区ラリーフォトコンテスト（令和7年11月20日（木）応募締め切り）への応募案内

以上